

谷中七福神

東京で最も歴史のある七福神で、今から 250 年前から続いていると言われている。

上野に東叡山寛永寺を建立する際に、不忍池を琵琶湖に見立てて竹生島から弁才天を勧請。更に塔頭の護国院に家光から大黒天の絵画を奉納され、多くの参詣者を集めた。

1.東覚寺(福祿寿)

山門に体中に赤紙が貼られた金剛力士像が 2 体あり、病を患った人が赤紙をその部分に貼付け、病が治ると草履を供える風習が今でも残っている。また、裏の庭園に多くの仏像があり一見の価値ある。



福祿寿



赤札が貼られた金剛力士像



庭の池でつりする大黒天

2.青雲寺(恵比寿)

この地は江戸近郊の行楽地として賑わい、花見の場所でもあり「花見寺」とも呼ばれていた。また、滝澤馬琴の筆塚の碑がある。



恵比寿



馬琴の筆塚

3.修性院(布袋尊)

もともと、この布袋は 2 の青雲寺にあったが当院に移したもの。



布袋尊



修性院

4.天王寺(毘沙門天)

日蓮の弟子日源が日蓮宗の寺院として感応寺を建立した。江戸時代に入り強制改宗で天台宗の感応寺となった。その後、日蓮宗への帰宗運動が起きたが、寺の名前を天王寺と変えさせられて、認められなかった。

江戸の三大富くじとして賑わう(ほかに目黒不動、湯島天神)



毘沙門天



天王寺

5.長安寺(寿老人)

本堂中央の上部壁画に鳳凰、奥の両袖壁面に昇龍と降龍がある。この寿老人は家康が奉納したとされ、鹿を従えた等身大の座像。



寿老人



鳳凰

6.護国院(大黒天)

天海僧正の命で東叡山寛永寺の子院として建立された。家光が大黒天の画像を奉納。



左の画像が家光奉納したもの



護国院

7.不忍池弁天堂(弁才天)

天海僧正は比叡山延暦寺にならい東叡山寛永寺を創建。不忍池は琵琶湖に見立て竹生島に因んで中之島(弁天堂)を築いた。



弁才天



弁天堂

以上